



触って、遊んで 学んで、楽しむ 布の絵本の魅力



図書館に「布の絵本」があるのはご存じですか？
布の絵本とは、布地やフェルト、ひも、ファスナー、マジックテープなどを使って立体的に作られた仕掛け満載の絵本です。物語を楽しむだけでなく、開く、外す、はめる、引っ張る、ほどこ、結ぶなどの動作を使うことで「触って、遊んで、学んで」楽しめることが特徴です。

図書館にある布の絵本は、布の絵本ボランティア「みずあおい」による手作りです。
本に親しむきっかけとしてうってつけの布の絵本は、館内で読むだけでなく、一部貸し出しも行っています。
一度手に取って、布の絵本の手触りやぬくもり、随所に凝らされた工夫の数々を体感してみてください。

布の絵本は
全て手作り！
名作も
いっぱい



みずあおいオリジナル絵本
「えんそく えんそく」



Interview

みずあおいは、平成21年から活動を始め、これまでに40冊以上の絵本を制作しました。中でも、手作り布の絵本全国コンクールに出展し、東日本大震災の被災地に寄贈した「えんそく えんそく」にはとても思い出があります。布の絵本は一つ一つのパーツを丁寧に作るため、完成に数カ月かかるものもありますが、それだけに作品への愛情も深いです。布の絵本に魅力を感じた人、この活動に参加して、一緒に心温まるような作品を作りませんか。



布の絵本ボランティア「みずあおい」
みずあおい
宮崎康子さん（広崎5町内）
やすだうこ
安田了子さん（広崎3町内）